

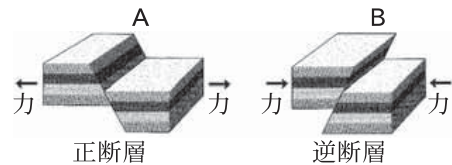
〈解答〉

- ① (1) 断層  
 (2) ① しゅう曲 ② ア (完答)  
 (3) カ  
 (4) ① プレート (カタカナのみ可) ② イ (完答)  
 (5) 8 cm

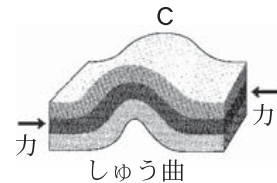
配点 各1点 5点満点

〈解説〉

- ① (1) 地層の両側に力が加わると、地層が切断されてずれることがあります、このような地層のずれを、まとめて断層という。右の図のように、地層を両側に引く力が加わってできた断層を正断層といい、地層を両側から押す力が加わってできた断層を逆断層という。この他にも、地層が水平方向にずれる横ずれ断層という断層があり、対面側が右向きにずれたものを右横ずれ断層、左向きにずれたものを左横ずれ断層という。

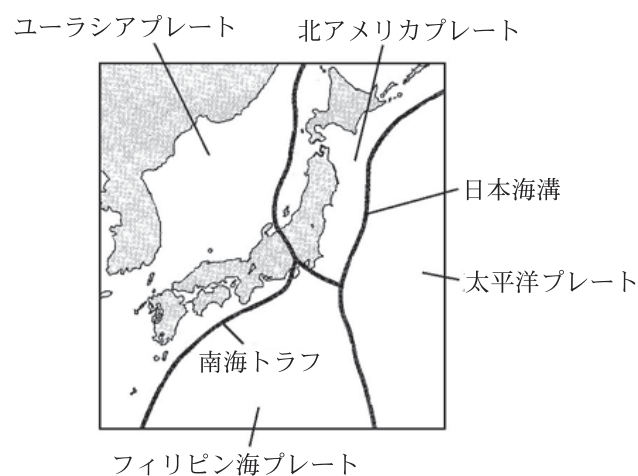


- (2) (1)の解説で述べた逆断層以外にも、地層を両側から押す力が加わると、右の図のように、地層が波打つように曲げられたしゅう曲ができることがある。大規模なしゅう曲においては、山脈が形成されることもある。



- (3) (1)、(2)の解説より、地層に対して、Aの正断層は両側に引く力が加わってできたものであり、Bの逆断層とCのしゅう曲は両側から押す力が加わってできたものである。
- (4) 地球の表面をおおう十数枚の岩盤は、一般にはプレートとよばれている。下の図のように、日本列島付近では、大陸プレート(陸のプレート)である北アメリカプレート(2図の岩盤X)とユーラシアプレート、海洋プレート(海のプレート)である太平洋プレート(2図の岩盤Y)とフィリピン海プレートの4枚のプレートが、互いに接して力をおよぼし合っている。また、大陸プレートの方が海洋プレートよりも密

度が小さいので、これらが接して押し合うと、密度が大きい方の海洋プレートが大陸プレートの下にもぐり込むような動きをする。このとき、海洋プレートにふれている大陸プレートの先端が引きずり込まれるので、この部分には、非常に深くて細長い溝状の地形ができる。このような海底の地形を海溝（2図の地形Z）という。海溝と同じような海底の地形にトラフとよばれるものがあるが、一般に6,000 m以上の深さのものを海溝、それより浅いものをトラフとよぶ。なお、北アメリカプレートと太平洋プレートが接するところを日本海溝、ユーラシアプレートとフィリピン海プレートが接するところを南海トラフという。



- (5)  $6000 \text{ [km]} = 600000000 \text{ [cm]}$  なので、1年間では  
 $600000000 \text{ [cm]} \div 75000000 \text{ [年]} = 8 \text{ [cm]}$   
ほど動いていることになる。